

じょうせつてんじあんない
常設展示案内

名古屋市のうつりかわりと

しせいしりょうかん
市政資料館

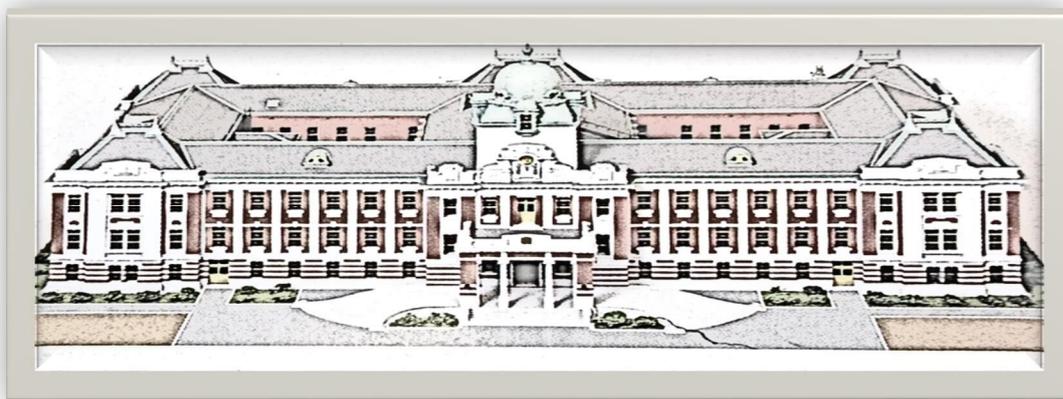
(小学3・4年生用)

名古屋市市政資料館

だい じょうせつてんじしつ
第1常設展示室

なごやこうそいん
名古屋控訴院メモリアル

じゅうようぶんかざい きゅう ちほうさいばんしょく ちようしゃ
重要文化財 旧名古屋控訴院地方裁判所区裁判所庁舎



旧名古屋控訴院地方裁判所区裁判所庁舎は、大正11

年（1922）9月、4年余りの時と当時のお金で約90万円

をかけて、建てられました。設計や工事に主に関わった

のは、大阪や名古屋の控訴院などを建てた金刺森太郎でした。

建物は、レンガと鉄筋コンクリート造3階建てで、地上から塔の

先までは約28メートルの高さがあります。建物の外側には、白い

花崗岩、人造石や赤いレンガを使い、屋根は塔以外天然のスレート

（うすい板のような石）でおおっています。

建物は、ネオ・バロック様式でつくられ、大正時代の建物の様子が

よくわかります。昭和59年（1984）5月21日に、国の重要文化財に

指定されました。

だい じょうせつてんじしつ かいぎしつ
第2常設展示室 会議室



この部屋は、建てられた当時、会議室として使われました。部屋の南側には外に出ることのできるとびらがあります。北側には

奉安所（尊いものを置いて、たてまつる所）をつくり、周りにどしりと落ち着いた道具などを置いて、引き締まった雰囲気をつくり出しています。内側は、腰の高さくらいのところまで羽目板の合板がはられています。この合板は、ラワンの薄い板を三枚はり合わせ、表にうずまき模様のカエデを使ってつくられています。

壁や天井は、しっくいをぬった上に紙をはって仕上げました。また、天井は、真ん中を高くし、かざりをつけ、シャンデリアをつるしています。ゆかには、花がら模様のじゅうたんがしかれています。

今、みなさんが見ている会議室は、残された当時の写真や資料で復原したものです。

だい じょうせつてんじしつ 第3常設展示室

なごや きんだいけんちくし 名古屋の近代建築史

名古屋は、昔から良い木材に恵まれ、
名古屋城などの優れた建物が作られてい
ました。明治になると、ヨーロッパなど
の建物を建てるぎじゅつなどが取り入れ
られ、工場や官庁、学校などの建物が
つくられるようになりました。



栄に建てられた「いとうごふく店」

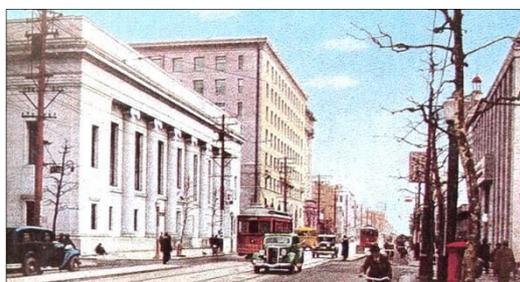
時が経つにつれ、商店や住宅にも、外国の建物の形が取り入れ
られるようになりました。

大正から昭和になると、レンガ造のほかには鉄こつ造、鉄筋コン
クリート造の建物が増えてきました。これは、火災や地しんに対
して安全で、大きな建物をつくる必要が出てきたためでした。

まちな
<名古屋の街並みのうつりかわり>



さかえふきん
明治の終わりころの栄付近の様子



ひろこうじ
昭和の初めの広小路の様子

だい じょうせつてんじしつ
第4常設展示室

なごや
名古屋のあゆみ

名古屋 ^{むかし}
昔と今



明治20年ごろの名古屋駅

① 名古屋駅

^{めいじ}
明治19年(1886)3月、名古屋から

^{たけとよ} ^{てつどう}
武豊の間を鉄道が走るようになりました。

^{ささしま} ^{もくぞう} ^{えき}
た。そのため、笹島に木造の駅がつく

られました。当時は「笹島ステーション」とよばれていました。

^{とうきょう} ^{こうべ} ^{とうかいどうせん}
東京から神戸までの東海道線は、明治22年(1889)7月にでき

ました。

^{しょうわ} ^{げんざい}
昭和12年(1937)2月、現在の

^{ばしょ}
場所につくられた新しい名古屋駅

は、名古屋のげんかんとして長い



昭和63年ごろの名古屋駅

間多くの人に親しまれ、平成11年(1999)、高さ245mの超高層ビル



現在の名古屋駅周辺

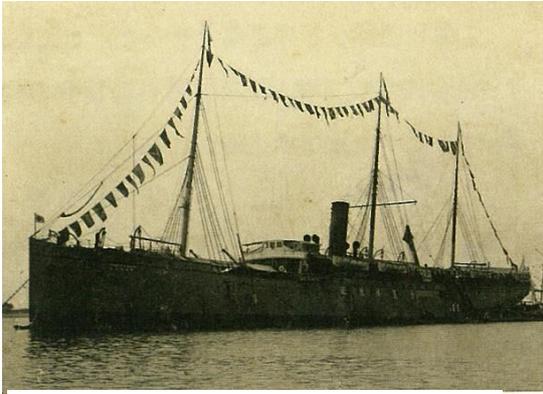
^{ちようこうそう}
ル「JRセントラルタワーズ」

^か ^{りよう}
に変わるまで利用されました。

^{げんざい} ^{しゅうへん}
現在では、周辺に高層ビルの

^{けんせつ} ^{すす}
建設が進んでいます。

② ^{なごやこう}名古屋港



入港した「ろせった丸」

^{めいじ} ^{はじ} 明治の初めころ、^{あつた} ^{みなと} 熱田の港

(今の名古屋港) は 200 トンから 300 トンの船でさえ出入りが ^{むずか} 難しい港でした。そのため、大きな船は ^{よっかいち} 四日市港に入り、名古屋には来ませんでした。多くの人は、大き

な船が入る港の ^{けんせつ} ^{ねが} 建設を願っていました。明治 29 年(1896)、港をつくる ^{こうじ} ^{はじ} 工事が始まりましたが、思ったより多くのお金が必要となり、^{ひつよう} 工事に ^{はんたい} ^ふ 反対する人が増えました。

しかし、明治 39 年 (1906) に、「ろせった丸」という大きな外国の船が入港すると、ようやく港をつくろうという声が高まり、工事が進みました。

明治 40 年 (1907) 10 月には、港の名前を「熱田港」から「名古屋港」と ^か 変え、その年の 11 月に ^{かいこう} 港を開港しました。

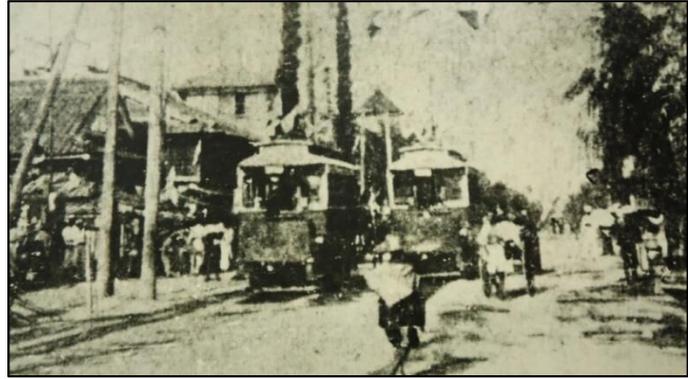


^{げんざい} 現在の名古屋港周辺

③ ひろこうじ 広小路通り

なごやしろ
名古屋はお城を中心
に大きくなりました。

しかし、今から360
年ほど前に大火事が起



明治30年ごろの広小路

き、やくわり
約7割近くの家などが焼けてしまいました。そこで、家などが
焼けるのを防^{ふせ}ぐために、道はば13間^{けん}（23.6m）の広い道を作りました。
これが、今に残^{のこ}る広小路です。

めいじ ささしま ちょうじゃまち
明治19年、笹島に名古屋駅ができると、長者町から笹島まで広
小路がのび、明治31年（1898）には、栄^{さかえ}から笹島まで市内電車が
走るようになりました。

しょうわ
大正から昭和にかけて、広小路にはさまざまな店が並び、さか



り場としてにぎ
わい、そのにぎ
わいは今^{いた}に至っ
ています。

げんざい
現在の広小路

だい じょうせつてんじしつ
第5常設展示室

なごや
大きくなる名古屋市



めいじ
明治22年(1889)10月1日、

名古屋市が誕生しました。

人口 157,496人

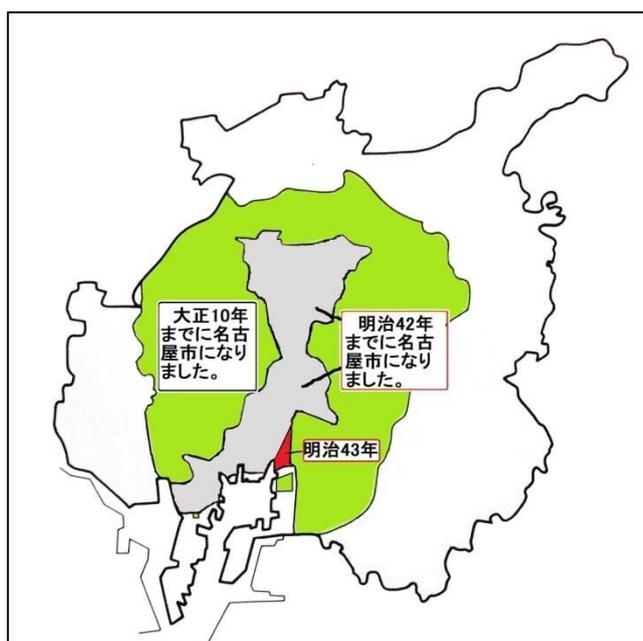
めんせき
面積 13.34 km² (明治22年)

明治40年(1907)には、あつた

町と小碓村の一部が名古屋市になりました。

人口 405,646人

面積 37.34 km² (明治43年)



大正10年(1921)になると、

かさでら
笠寺村と名古屋市のまわりにある16の町や村が名古屋市になりました。

人口 616,700人

面積 149.56 km² (大正10年)



しょうわ しものいしき
昭和12年(1937)、下之一色

しょうない はぎの
町、庄内町、萩野村が名古屋
屋市になりました。

人口 1,186,900 人

めんせき
面積 160.14 km² (昭和12年)

せんそう
戦争も終わり、昭和30年
(1955)になると、名古屋市

いたか てんぱく くすのき やまだ とみた なんよう
まわりの猪高村、天白村、楠村、山田村、富田町、南陽
町が名古屋市になりました。



人口 1,336,780 人

面積 250.07 km² (昭和30年)

昭和38年(1963)には、

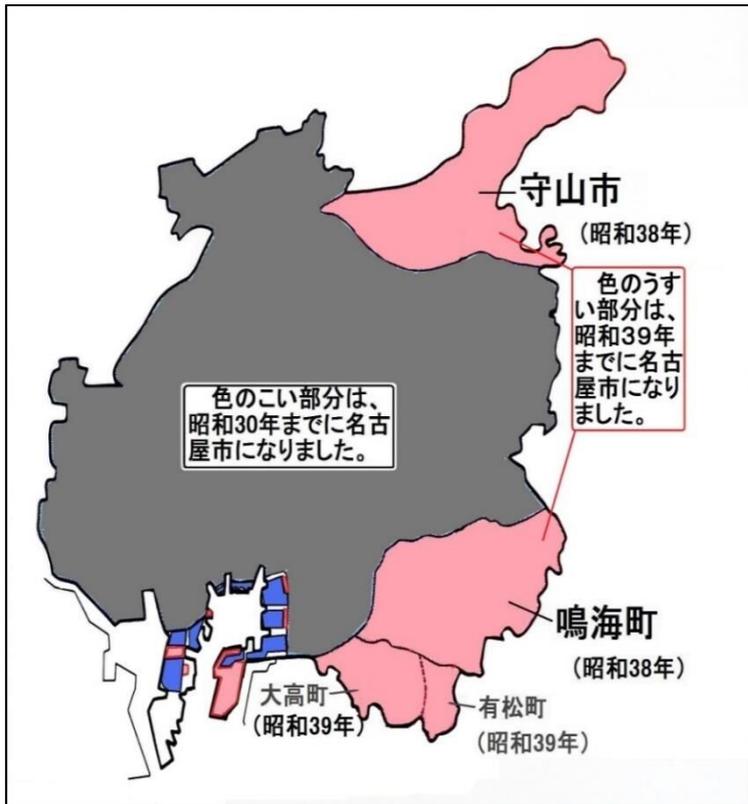
もりやま なるみ
守山市が守山区、鳴海町が

みどり
緑区になりました。

昭和39年(1964)には、

ありまつ おおだか
有松町と大高町が緑区にな

りました。昭和40年10月の面積は、325.19 km²となり、昭
和44年(1969)には、人口が200万人をこえました。



しょうわ
昭和50年(1975)に
ちくさ めいとう
は、千種区から名東
区、昭和区からてんぱく
区ができました。

れいわ
令和7年(2025)1
げんざい
月現在の人口は、
2,332,154人。面積は
326.46 km²です。

ここで、もんだい
問題です。令和7年の人口は、なごや
名古屋市
たんじょう
が誕生したときのやくばい
約何倍になりましたか。

えら
次の中から選びましょう。

- ① 約10倍 ② 約15倍 ③ 約20倍

答えは、16ページにあります

なごや さんぎょう 名古屋の産業

めいじ はじ 明治の初めのころは、七宝、ちょうちん、せんす、はなお、組ひもとといった手で作業をする産業が主なものでした。

明治の中ごろ、大きな機械きかいを利用りようした産業が発展はってんするようになりまし
た。それが、糸をつくる産業とか布ぬのを
織おる産業でした。



さらに、日清・日露戦争にっしん にちろせんそうの時期じきに、マッチ、セメント、ガス、車
両をつくる産業が始まりました。

しょうわ 昭和に入ると、昭和7年（1932）には、国産自動車こくさんじどうしゃ「アツタ号」



がつくられ、日中戦争にっちゅうが始まると、
戦争かんけいに関係のある製品せいひん（軍じゆ品ぐん）
を作る産業がさかんになりました。

たいへいよう 太平洋戦争の間、多くの工場がアメリカ軍の空しゅうによりこわ
されてしまいましたが、戦後せんご、港区や南区を中心に重化学工業じゅうかがく、自
動車工業がさかんになりました。最近さいきんでは、サービスやじょうほう
などを中心とする産業がさかんになってきています。

だい じょうせつてんじしつ 第6常設展示室

なごや 名古屋市のまちづくり

名古屋市が誕生してから、数多くの台風や地しんといった自然

災害や戦争によるひ害がありました。名古屋市に暮らす人々が経験

した大きな災害には、次のようなものがあります。



まず、明治24年（1891）10月28日に発生した濃尾地しん。多くの家や学校などがこわれました。なくなったり、けがをしたりした人、

982人。こわれた家、4,349戸でした。

次に、昭和19年(1944)の東南海地しん、昭和20年(1945)の三河地しん。

続いて、太平洋戦争の終わりのころに起きたアメリカ軍による空しゅう。その空しゅうは何十回とありました。そのため、なくなった人とけがをした人を合わせる

と、18,000人余り。また、約14万户の家などがこわれたり、焼けたりしました。



戦争で燃えた名古屋の街



さらに、昭和^{しょうわ}34年(1959)

9月26日の伊勢湾^{いせわん}台風。

台風の災害^{さいがい}で一番大きな

被害^{がい}が出ました。なくなっ

た人は1,851人、こわれた

家は、118,000戸^{あま}余りでした。

以上の自然災害^{いじょう しぜん}や戦争^{せんそう}による被害^{がい}にあっても、ここまでの町にな

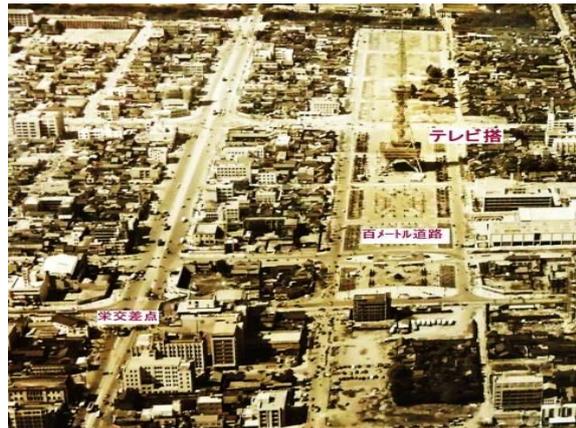
ったのは、先人^{せんじん}たちが優れた計

画^{えん}を立て、努力^{どりよく}してきたからだ

と思います。右^{みぎ}の写真^{しやしん}に写っ

ているものは、戦争^おが終わった後、

計画^{けいかく}されつくられたものです。

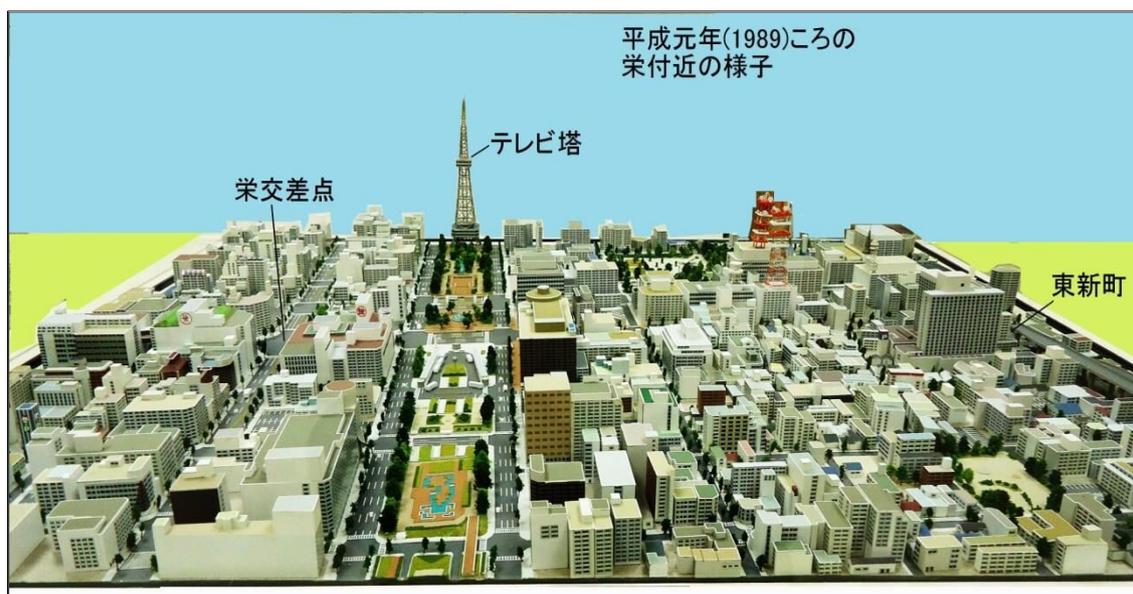


それは、何^{なに}でしょうか。次^{つぎ}の中から、選^{えら}びましょう。

- ① 名古屋城^{なごやじょう} ② 東山公園 ③ 100メートル^{どうろ}道路

答えは、16ページにあります

◇ ^{しょうわ}昭和12年(1937)と^{へいせい}平成元年(1989)ころの^{さかえふきん}栄付近の様子を見て、どのよう^かなところが変わったか、見つけましょう。



だい じょうせつてんじしつ
第7常設展示室

こくさいこうりゅう なごや
国際交流のさかな名古屋市



名古屋市が国際都市を目指すためには、いろいろな世界の文化を知り、学ばなくてはなりません。昭和34年(1959)にアメリカのロサンゼルス市と姉妹友好都市になって以来、昭和53年(1978)に、メキシコのメキシコ市、中華人民共和国の南京市、昭和55年(1980)にオーストラリアのシドニー市、平成17年(2005)にイタリアのトリノ市、平成29年(2017)にフランスのランス市と都市提携いを結びました。

また、名古屋市の小学校の給食では、姉妹友好都市の有名な料理が出され、それを味わうことができます。「ホットドッグ」「タコス」「スパゲッティ」などは人気のメニューです。

さて、ここで問題です。東山動物園にいる動物で、姉妹都市に
関係のあるものは何でしょう。次の中から選びましょう。

- ① ペンギン ② チンパンジー ③ コアラ

答えは、16 ページにあります



これらのマークは、姉妹友好都市のものです。どこの都市のものか、展示されているものを見て、調べましょう。

だい じょうせつてんじしつ 第8・9 常設展示室

めいじ ほうてい さいばん ちが
明治のころの法廷（裁判をるところ）と今の法廷の違

いを見つけましょう。〔ヒント：人の位置をよく見ましょう〕

●明治のころの法廷

けんじ けんさつかん はんじ さいばんかん
(検事は検察官とほぼ同じで、判事は裁判官とほぼ同じです)



●今の法廷



第5常設展示室の問題(p9)の答は、②です。
第6常設展示室の問題(p12)の答は、③です。
第7常設展示室の問題(p15)の答は、③です。